

Ⅱ.KTBアンカー工法

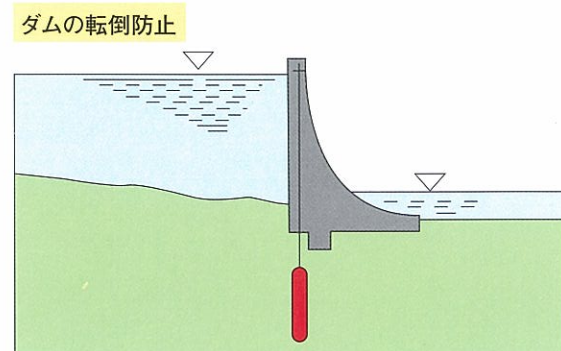
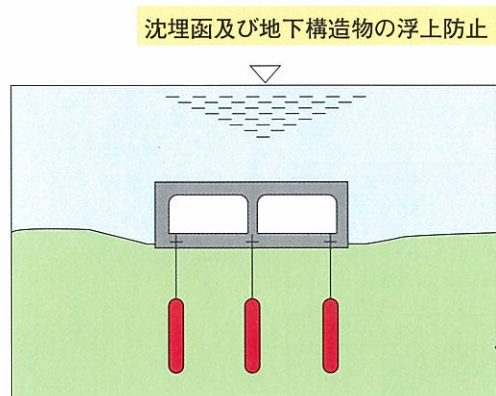
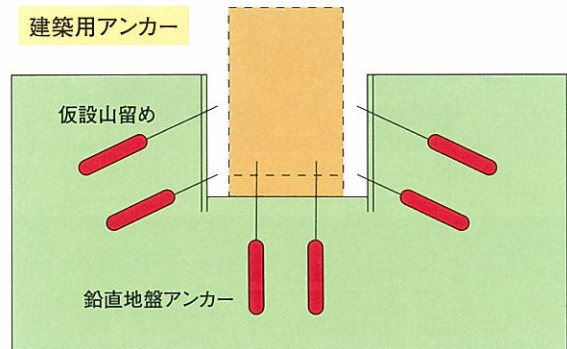
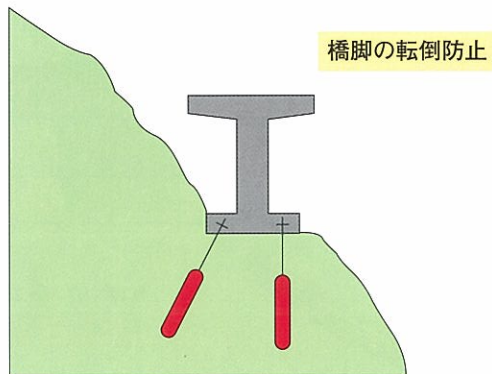
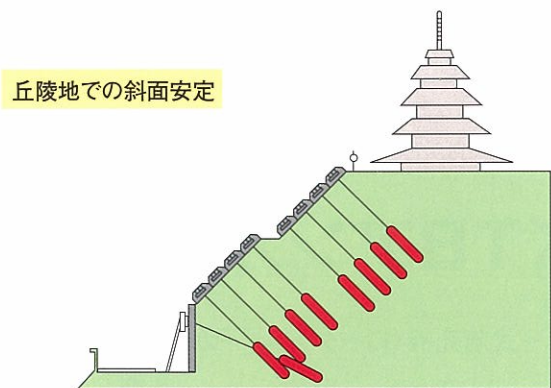
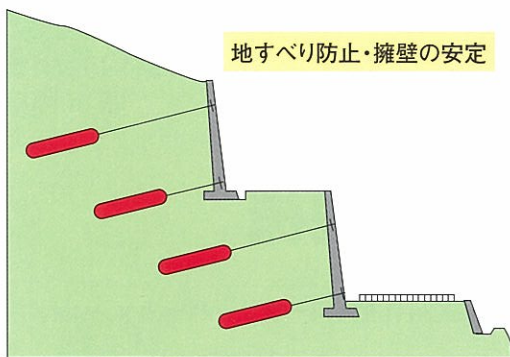
1.KTBアンカー工法の歴史

グラウンドアンカー工法はヨーロッパにおいて1950年代に開発された土木技術で、日本では60年代に実用化されました。

KTBアンカー工法は、1972年にKTB定着工法を活用した仮設アンカーから始まり、1981年には世界に先駆けた圧縮分散型支持機構を持つ仮設アンカーを開発し、「KTB・Uターン除去アンカー」として全国的に好評を博しています。その後、これを永久アンカーとして活用するために一層の改善・改良を加え、1991年に

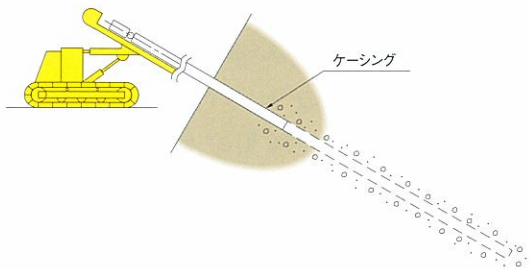
「荷重分散型KTB永久アンカー」として発表。1996年に(財)砂防・地すべり技術センターの技術審査証明を取得するなど、耐食性に優れた安全・確実なアンカーとして高い評価を受けています。さらに技術開発を進め、それぞれの特長を持つ2種類の永久アンカーを開発しました。1998年の「KTB・引張型SCアンカー」と2000年の「KTB・応力拘束型Cmsアンカー」で、いずれも(財)土木研究センターの技術審査証明を取得しています。

2.KTBアンカー工法の主な用途

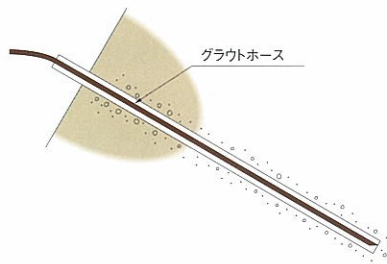


3.KTBアンカー工法の施工手順

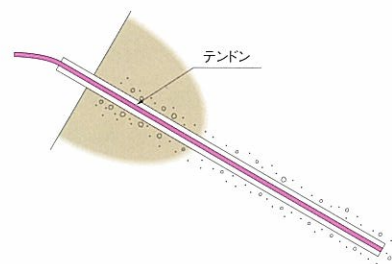
1 削孔



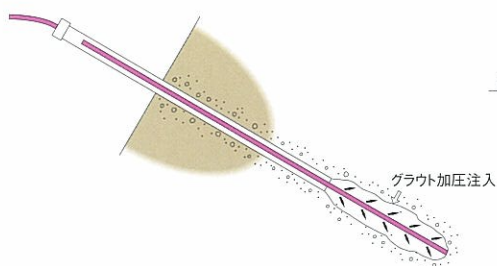
2 グラウト注入



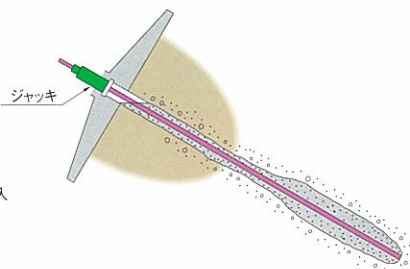
3 テンドン挿入



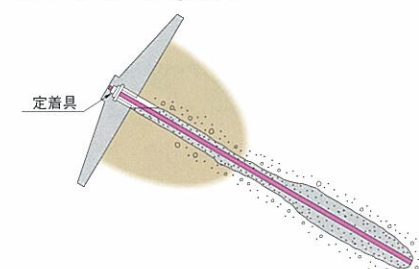
4 加圧注入



5 緊張および定着

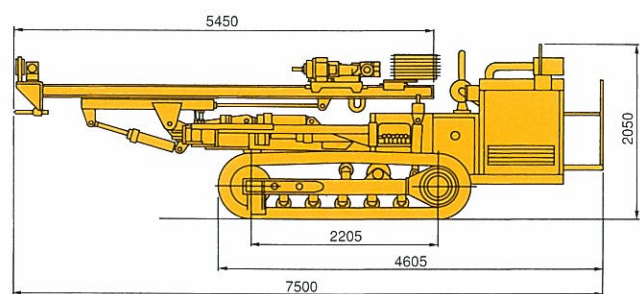


6 アンカー工事完了

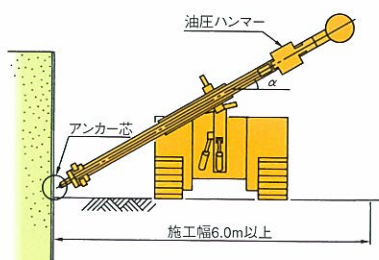
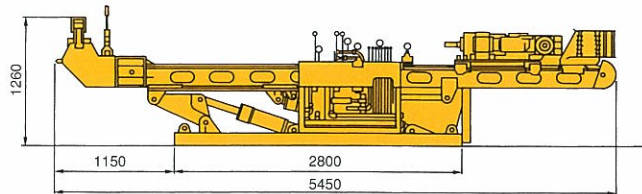


4.KTBアンカー工法の主な使用機械

クローラー式削孔機 (ロータリーパーカッション)



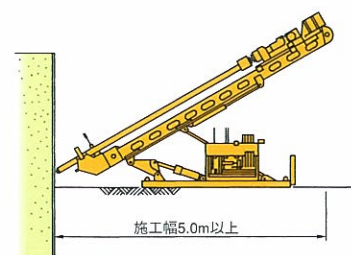
スキッド式削孔機 (ロータリーパーカッション)



施工盤からアンカー芯までの高さ

α	h(cm)
25°	+200
30°	±0
35°	±0
40°	-500
45°	-500

重量12000kg



施工盤からアンカー芯までの高さ

α	h(cm)
30°	±0
35°	±0
40°	-500
45°	-500

重量3000kg

使用電気 (kW)

機 械	クローラー式	スキッド式
ジャッキエース、削孔機	15.0	55.0
送水ポンプ	15.0	15.0
グラウトミキサー	3.5	3.5
グラウトポンプ	3.5	3.5
水中ポンプ 2台	3.5	3.5
カッター	1.0	1.0
最大使用量	41.5	81.5